

後年度・中期目標事業沖繩振興特別推進市町村交付金事業 成果一覽

令和5年9月

那覇市	1	嘉手納町	15
宜野湾市	2	北谷町	-
石垣市	4	北中城村	15
浦添市	5	中城村	16
名護市	6	西原町	17
糸満市	7	与那原町	17
沖繩市	7	南風原町	18
豊見城市	7	渡嘉敷村	-
うるま市	8	座間味村	-
宮古島市	9	粟国村	18
南城市	10	渡名喜村	18
国頭村	11	南大東村	-
大宜味村	11	北大東村	19
東村	12	伊平屋村	19
今帰仁村	12	伊是名村	19
本部町	13	久米島町	20
恩納村	13	八重瀬町	20
宜野座村	13	多良間村	21
金武町	13	竹富町	21
伊江村	14	与那国町	21
読谷村	14		

【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「R5年度以降に効果発現する事業」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画時期	事業内容	成果目標（指標）	R4年度成果実績（指標）	評価
01 那覇市	1 28	観光入込統計調査事業	H28 ～ R3	那覇市における国内観光客の旅行動向の実態を把握し、その結果を活用するため、旅行行動、観光消費額等を調査し、基礎資料とする。	WEBアンケート調査：回収件数400件以上 対面アンケート調査：回収件数200件	WEBアンケート調査：回収件数400件 対面アンケート調査：回収件数448件	◎
01 那覇市	3 16	商店街アーケードビジョンづくり支援事業	H29 ～ H30	誰もが安全・安心・快適に買い物や散歩が楽しめる魅力ある中心商店街の商環境整備のため、老朽化したアーケードのあり方について、商店街関係者によるビジョンづくりを支援する。	【R5成果目標】 平和通り商店街の老朽化したアーケードの撤去、代替案の整備開始	今後は修繕で対応することとなった。	未
01 那覇市	1 5	亜熱帯庭園都市の道づくり基礎調査事業	H27 ～ R1	観光客が道路を安全で快適に移動できるよう、道路の環境改善を図るため、基礎調査を行う。	【R4成果目標】 本事業により整備した道路について、観光客へのアンケート調査等を実施し、安全・快適に移動できるか（80%以上）を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証	本事業により整備した道路について、観光客へのアンケート調査等を実施し、安全・快適に移動できるか：91.3%	◎
01 那覇市	1 6	福州園再整備事業	H28 ～ R3	観光客を含めた利用者数の増加を図るため、県内唯一の中国式庭園である福州園において、機能強化を行う。	利用者数：100,000人	利用者数：58,364人	未
01 那覇市	1 1	観光案内所外国人対応スタッフ配置事業	H25 ～ R3	外国人観光客への利便性確保を図るため、外国語対応可能なスタッフを配置している観光案内所の運営を支援するもの。	外国人観光客へのアンケート調査を実施し、利便性が確保されたか（満足度80%以上）を含め、アンケート調査により本事業のあり方を検証する。	外国人観光客へのアンケート調査を実施し、利便性が確保されたか：満足度95.8%	◎
01 那覇市	1 7	リュウキュウマツ害虫対策事業	H24 ～ R3	観光資源である景観の保護を図るため、県木であるリュウキュウマツへの薬剤注入等により、マツ枯れ予防対策を行う。	予防達成率：90%以上	予防達成率：100%	◎
01 那覇市	7 2	新文化芸術発信拠点施設整備事業	H24 ～ R3	市民、県民が質の高い文化芸術公演に触れる機会や文化芸術活動を行う場の確保を図るため、新文化芸術発信拠点施設を建設する。 本年度は、施設本体の建設工事等を実施する。	【R4成果目標】 年間利用者数 延べ20万人	【R4成果目標】 年間利用者数 17.3万人	○
01 那覇市	12 1	地下壕対策事業	H26 ～ R3	観光客の利便性の確保を図るため、中心商店街（マチグラー）に、案内所を設置する。	対策を実施した地下壕での翌年度の事故発件数0件	対策を実施した地下壕での翌年度の事故発件数0件	◎

【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「R5年度以降に効果発現する事業」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画時期	事業内容	成果目標（指標）	R4年度成果実績（指標）	評価
01 那覇市	1 36	貸切バス乗降場・待機場整備事業	H30	貸切バスの国際通り周辺での路上駐車による交通混雑の緩和を図る。	【R4成果目標】 県庁北口付近及び牧志駅付近への貸切バスの一日平均流入台数：2割減	調査未実施	未
01 那覇市	3 8	なは産業支援センター機能強化事業（駐車場整備）	H28 ～ H30	なは産業支援センターにおいて、来訪者のための駐車スペースを確保・整備することにより、来訪者の利便性の確保を図る。	【R4成果目標】 駐車場が整備されたことにより利便性が確保されたか（80%）以上	駐車場が整備されたことにより利便性が確保されたか：37.0%	未
02 宜野湾市	1 1	道路景観整備事業	H24 ～ H30	はごろも祭りやプロ野球キャンプ、コンサートなど、各種イベント行事が行われるコンベンションエリア（市立野球場や屋外劇場、ビーチがある海浜公園や沖縄コンベンションセンター、ホテルなど）と国道58号を接続する市道を、良好な景観形成を目的として整備することで、宜野湾市の観光振興に寄与する。	【R2成果目標】 魅力的な観光地としての景観形成が図られたか（80%以上）を含め、観光客や市民等へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	アンケート：延期	未
02 宜野湾市	1 5	文化財説明板・標識設置事業	H24 ～ R3	観光振興及び文化教育に資するため、市指定・登録文化財等の所在地に標識や説明板を設置するとともに、自治会事務所等に「地域文化財案内板（ふるさと案内板）」を設置する。	地域文化財案内板：5件 文化財標識・説明板設置件数：3件	地域文化財案内板：5件 文化財標識・説明板設置件数：3件	◎
02 宜野湾市	3 1	文化財保存整備事業	H24 ～ R3	文化財を適切に保存し、市民、観光客等に公開活用できるよう、文化財の石積修復や安全対策、修景などの整備を行う。	①本部御殿墓の基本実施設計：1件	①本部御殿墓の基本実施設計：1件	◎
02 宜野湾市	5 1	市民防災事業	H27 ～ R3	宜野湾市地域防災計画に基づき食糧及び飲料水の備蓄や自主防災組織の強化、観光客等向けの津波避難誘導表示板の設置を行い、適切な被災者支援を行う。	①保存食及び保存水の備蓄 ・R4年度備蓄食糧 備蓄率100% ・R4年度保存水 備蓄率11% 宜野湾市防災訓練において訓練参加者に対するアンケートの結果「備蓄の重要性を感じた。」：「80%以上」と設定。	①保存食及び保存水の備蓄 ・R4年度備蓄食糧 備蓄率100% ・R4年度保存水 備蓄率99.99%	○

【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「R5年度以降に効果発現する事業」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画時期	事業内容	成果目標（指標）	R4年度成果実績（指標）	評価
02 宜野湾市	7 1	普天間飛行場跡地利用計画策定事業（地権者意向調査）	H24 ～ R3	普天間飛行場の跡地利用推進のため、関係地権者や市民の合意形成に向け、情報提供や意向把握等の調査を行う。また、市民によって構成される「NBミーティング」や若手地権者等によって構成される「若手の会」の活動を支援し、合意形成についての取り組みを行う。	市民向けの意向醸成イベント ①来場者数：230人 地権者向けの意見交換会 ②参加者数：80人	市民向けの意向醸成イベント ①来場者数：230人 地権者向けの意見交換会 ②参加者数：80人	◎
02 宜野湾市	8 1	被覆資材等導入推進補助事業	H27 ～ R3	本市農業振興を図る為、防風対策施設の設置及び被覆資材等導入にかかる経費に対する支援を行う。	被覆資材を導入した事による生産上昇率5.0%	被覆資材を導入した事による生産上昇率2.0%	未
02 宜野湾市	14	市民会館機能強化事業	H30 ～ R2	建設から35年が経過し施設の老朽化が進んでいる現在の設備等を改修し、市民がより利用しやすい施設として機能向上を図り、市民が質の高い文化芸術公演に触れる機会や文化活動を行う場の確保を図るため、宜野湾市民会館の整備を実施する。	①空調設備改修【設計】 ②中央監視盤改修【設計】 ③防災盤改修【設計】	①空調設備改修【設計】 ②中央監視盤改修【設計】 ③防災盤改修【設計】	◎
02 宜野湾市	6 ②	普天間飛行場跡地利用計画策定事業（共同調査）	H24 ～ R3	宜野湾市と沖縄県が平成19年5月に策定した「行動計画」に基づき、跡地利用の骨格に係る分野別計画の検討と、市民・県民・地権者等に対して情報発信を行い、普天間飛行場跡地利用計画に反映させる。	「全体計画の中間取りまとめ（第2回）」の作成に向けた検討調査を行い調査内容報告書の作成	「全体計画の中間取りまとめ（第2回）」の作成に向けた検討調査を行い調査内容報告書の作成	◎
02 宜野湾市	1 ⑧	博物館機能強化事業	H26 ～ R3	観光振興及び生涯学習に資することを目的に、文化発信拠点である市立博物館の案内板充実など機能強化を実施する。	年間利用者数 24,573人	19,319人	○
02 宜野湾市	1 ⑨	ぎのわん美ら海クリーン活動支援事業	R3	宜野湾市の海は本島周辺地域でも有数のサンゴ礁が広がるきれいな海である。しかしその認知度が低いことから、サンゴの植樹、海の清掃活動を通じ広報活動を行うことで、観光資源を保全しながら本市の新たな観光コンテンツの開発することを目的とする。	ダイビング観光客 200人	・体験ダイビング：542人	◎

【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「R5年度以降に効果発現する事業」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画時期	事業内容	成果目標（指標）	R4年度成果実績（指標）	評価
02 宜野湾市	6 ①	普天間飛行場跡地利用計画策定事業（地権者意向調査）	H24～R3	普天間飛行場の跡地利用推進のため、関係地権者や市民の合意形成に向け、情報提供や意向把握等の調査を行う。また、市民によって構成される「NBミーティング」や若手地権者等によって構成される「若手の会」の活動を支援し、合意形成についての取り組みを行う。	跡地利用計画（素案）策定後、当該跡地利用計画に対する市民、県民や地権者等の「肯定的な評価」80%以上	アンケート84%	◎
02 宜野湾市	7	被覆資材等導入推進補助事業	H27～R3	本市農業振興を図る為、防風対策施設の設置及び被覆資材等導入にかかる経費に対する支援を行う。	被覆資材等を導入したことによる生産上昇率5%	実績：2%	未
03 石垣市	2 3	平久保半島エコロード整備事業	H29	歩行者空間と自転車空間のネットワークを形成するための計画を策定する。	【H32成果目標】 エコロードを活用して行われる「石垣島オーシャンビュートレイルラン&ウォーク大会」への参加者数810人	イベント未実施	未
03 石垣市	2 6	観光施設及びキャンプ場誘客整備事業	H24～R3	観光客の受け入れ基盤の強化を図るため、観光施設の整備を図る。	【R4成果目標】 利便性が確保されたか（80%以上）を含め、当該施設のあり方をアンケートで検証する。	アンケート未実施	未
03 石垣市	5 8	島野菜・ハーブの生産、加工、販売推進事業	H28～R3	島由来の野菜やハーブの安定的な生産を推進するとともに、新規商品開発や販路確保・拡大に向けた環境の構築を目指す。	【R4成果目標】 野菜・ハーブの生産者戸数84戸	野菜・ハーブの生産者戸数236戸	◎
03 石垣市	1 ⑦	石垣市民会館設備機能強化事業	H25～R3	市民が質の高い文化芸術公演に触れる機会の確保を図るため、石垣市民会館の大ホール舞台機構の機能強化を行う。	【R4成果目標】 島外のイベント会社等が主催する公演数：5件	島外のイベント会社等が主催する公演数：7件	◎
03 石垣市	5 ②	明石地区避難道路整備事業	R1	予想される大地震時における津波避難道路を整備し、安全な農村集落の環境を整える。	【R2成果目標】 整備された避難経路を活用した避難訓練（1回以上/年）を実施する中で、安心安全に避難できたか等を含め参加者に対してヒアリングを実施することにより、本事業のあり方について検証する。	ヒアリング実施：1回	◎
03 石垣市	1 ⑥	八重山博物館所蔵資料修復及び整理・活用事業	H24～R3	歴史の継承および観光資源として活用し、誘客を図ることを目的として、博物館所蔵資料の修復及びデジタル化を行いそれらを展示に活用するとともに、研究に供する。	【R3成果目標】 令和2年度に修復した資料を活用した企画展を開催し、観覧者数250人以上を目指す。	観覧者数：3,023人	◎

【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「R5年度以降に効果発現する事業」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画時期	事業内容	成果目標（指標）	R4年度成果実績（指標）	評価
03 石垣市	4 ④	水産振興事業	H27 ～ R3	沖縄ミーバイの生産量の増加を促進するため、沖縄ミーバイ種苗を沖縄本島の本部にある栽培漁業センターから石垣島まで輸送する費用の補助を行う。	【R4成果目標】 沖縄ミーバイ出荷量：8,550尾以上	沖縄ミーバイ出荷量：7,916尾	○
03 石垣市	7 ①	新石垣空港国際線旅客施設強化事業	H27 ～ R3	八重山圏域の戦略的な国際観光拠点として、国際線旅客ターミナルを中型機対応施設として整備することにより、受入態勢の強化を図るため、施設の増改築に係る工事費を補助する。	【R4成果目標】 国際線旅客数 106,400人以上	国際線旅客数 458人	未
03 石垣市	1 ③	石垣市内文化財環境整備事業	H24 ～ R3	市民が市内にある文化財に触れる機会を確保するとともに、文化財を活用した観光誘客を図るため、指定文化財等の周辺環境を整備し、説明板を設置する。	【R4成果目標】 地元のエコツーリズム協会が整備完了後の文化財を活用して行う史跡めぐりの実施（年12回以上開催）	文化財を活用して行う史跡めぐりの年12回開催	◎
03 石垣市	1 ④	八重山博物館所蔵資料修復及び整理・活用事業	H24 ～ R3	歴史の継承および観光資源として活用し、誘客を図ることを目的として、博物館所蔵資料の修復及びデジタル化を行いそれらを展示に活用するとともに、研究に供する。	【R4成果目標】 令和3年度に修復した資料を活用した企画展を開催し、観覧者数220人以上を目指す。	観覧者数：1,276人	◎
03 石垣市	5 ①	防災体制整備事業	H27 ～ R3	災害時の市民や観光客等の安全を確保するため、災害時の情報提供手段の確保や住民の避難、災害応急対応等の諸活動の円滑化を推進する仕組みを整備する。	平時の防災無線放送が確実に伝達されたか（100%）を、防災行政無線等を活用した避難訓練への参加者に対するアンケートで検証	アンケート結果：84.9%	○
04 浦添市	2 1	てだこ市民によるウラボイ風景づくり推進事業	H24 ～ R3	沖縄らしい景観・風景を次世代に守り継ぎ、風土を高める礎とするため、地域景観資源の保全・再生、市民活動の支援、人材育成を行い、文化・観光を含む地域振興を図る。	地域ごとの景観施策、景観まちづくり計画等の基準及びまちなみ景観を修景するための支援（助成）を基に、景観形成の規制・誘導を行うことで、沖縄らしい美しいまちなみ景観形成の推進につなげる	景観形成推進につなげた	◎
04 浦添市	12 4	牧港補給地区返還跡地転用推進基金事業	H24 ～ R3	駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用を推進するため、牧港補給地区の土地の先行取得を実施するにあたり、基金を造成する。	特定事業の見通しの変更を行い、基金積立事業の継続を目標とする。（17.4ha → 30.0ha）	沖縄県における駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用の推進に関する特別措置法第13条に基づく土地の先行取得事業のための基金積立を実施し、目標面積17.40haに対して、17.38ha（99.86%≒100%）の土地を取得した。	○

【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「R5年度以降に効果発現する事業」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画時期	事業内容	成果目標（指標）	R4年度成果実績（指標）	評価
04 浦添市	2 ②	地域資源復元推進事業	R1 ～ R3	沖縄の歴史的景観を再生し、沖縄らしい風景づくりを推進し歴史・文化の継承を図るため、地域に所在する文化・観光資源である市指定文化財等や中頭方西海道等の歴史の道のルートの環境整備や民俗文化財の説明板の設置を行う。	中頭方西海道の歴史の道及びその周辺文化財を活用したイベント等の参加人数 310名以上/年	イベント参加者数 230人	○
04 浦添市	2 ②	地域資源復元推進事業	R3	沖縄の歴史的景観を再生し、沖縄らしい風景づくりを推進することにより、文化・観光の振興を図る。そのために、地域に所在する文化・観光資源である市指定文化財等や中頭方西海道等の歴史の道のルート整備を行う。	中頭方西海道を活用したイベントへの参加人数 290名以上/年	イベント参加者数 230人	○
04 浦添市	5	災害時備蓄食料及び保管倉庫等整備事業	H29 ～ R2	災害時における住民及び観光客の安全確保を図るため、未整備の避難所等に備蓄倉庫を設置し、備蓄米、飲料水及び災害用備品等を配備する。	整備した備蓄食糧及び備品等を活用した防災訓練（1回以上/年）を実施することにより、本事業のあり方について検証する。	津波等訓練 1回実施	◎
04 浦添市	11 ②	里道及び水路の境界確定復元事業	H24 ～ R3	戦後、地籍が確定されないままに家屋等が建築された箇所等について、境界問題を解決し、今後の道路整備や緊急時避難路の確保につなげるため、里道及び水路の用地測量を実施し、境界の復元・確定を行う。	公共用地の適正管理に向けた各種施策の実施につなげる。	対策の実施には至ってない。	未
05 名護市	4 1	名護市金融・情報特区企業招聘セミナー等広報イベント事業	H24 ～ R3	金融・情報関連企業の誘致を促進するため、企業向けの広報イベントや誘致活動、学生・市民向けの金融・IT講座を実施する。	①企業招聘セミナー、沖縄県開催企業誘致県外イベントへ参加した金融・情報通信関連企業のうち名護市へ進出した企業数 2件 ②金融・情報基礎人材育成講座の参加者：150名	企業招聘セミナー、沖縄県開催企業誘致県外イベントへ参加した金融・情報通信関連企業のうち名護市へ進出した企業数：0件 ②金融・情報基礎人材育成講座の参加者：166名	△
05 名護市	2 ⑨	名護市観光施設機能強化事業	H28 ～ R2	名護市の観光振興に寄与する拠点施設であるネオパーク・オキナワ、なごアグリパークの施設機能を強化する。	観光客へのアンケート受入体制について満足である80%以上	アンケート結果：92.5%	◎

【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「R5年度以降に効果発現する事業」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画時期	事業内容	成果目標（指標）	R4年度成果実績（指標）	評価
06 糸満市	5 ①	再生水等循環型に関する実証事業	H24～R3	再生水の農業利用や公共施設での利用（公園の芝管理等）を実用化することを目的に、再生水製造の実証試験及び再生水栽培作物の実証栽培・販売を実施し、水資源循環型を構築する。	実証事業の成果及び今後策定した基本構想・計画等を基に定めた指標を目標とした再生水の実用化に係る施策を実施。	・平成29年度と平成30年度に再生水等循環型に関する実証事業を実施し、令和4年度において再生水等を活用した事業を実施する予定であったが、国営かんがい排水事業計画構想において、糸満市南地区で活用されている地下ダム用水利用を糸満市北地区へ延伸する構想が出来たことから、糸満北地区に再生水を利用した基本構想などは先送りになり未達成となった。	未
06 糸満市	1 ②	沖縄らしい風景づくり事業	H28～R3	風景づくり計画に基づく景観形成事業を実施することにより、観光地としての魅力向上を図る。	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか（80%以上）を含め、観光客等へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	アンケート結果：85%	◎
07 沖縄市	1 ④	文化活動拠点施設機能強化事業	H24～R3	文化の振興及び観光誘致の拡大を図るため、伝統芸能や演劇に加え、県外有名アーティストのコンサート等幅広いジャンルで活用される文化活用拠点施設の舞台機構、舞台照明等、設備の機能充実を図る。	【参考指標】 沖縄市民会館大ホール年間利用者数 43,000人	年間利用者数：65,787人	◎
07 沖縄市	3 ①	道路景観形成推進事業	H24～R3	観光地周辺道路を整備することにより、沖縄らしい風景づくりを行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	【参考指標】 景観形成1年経過後の目標として、魅力的な観光地としての景観形成が図られたか（80%以上）について道路利用者（観光客等）へアンケートを行い、本事業のあり方について検証する。	アンケート結果：90%	○
07 沖縄市	6 ③	防災拠点体制整備事業	H24～R3	災害時の住民や観光客等の安全を確保するため、広域避難場所であるコザ運動公園において避難所及び災害対策本部等の機能を有する防災拠点としての体制を整備する。	整備した備品を活用した防災活動（1回以上/年、防災訓練含む）の実施	防災活動の実施：1回	◎
07 沖縄市	11 ①	沖縄こどもの国推進事業	H28～R3	沖縄県を代表する広域的な児童・青少年のための人材育成拠点である沖縄こどもの国の誘客促進のため、各種ソフト施策を実施する。	目標入園者数 70万人	53万人	○
08 豊見城市	4 ①	デジタル博物館事業	H24～R3	歴史・文化に関わる資料の収集とデジタル化を行い、デジタルシステムに集約・整理し公開する。	デジタル博物館サイトの年間アクセス数 56,000回/年	地域資料共有報告書発行 5種類 webサイトアクセス数 60,000回/年	◎

【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「R5年度以降に効果発現する事業」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画時期	事業内容	成果目標（指標）	R4年度成果実績（指標）	評価
08 豊見城市	1 ④	新しい公共交通システム導入可能性調査検討事業	H24～R3	観光客が気軽に参加できる海釣り体験機能や西海岸地区の一体的な観光情報発信機能を有する観光交流施設を整備する。	【R2成果目標】 市内一周バス再編により利便性が確保されたか（80%以上）を含め、当該事業のあり方をアンケート及び実態調査で検証する。	アンケートで「市内一周バスルートの再編により利便性が確保された」と答えた割合：42.2%	未
08 豊見城市	2 ②	豊見城市いきいき野菜生産支援事業	R2～R3	市場や量販店の求める定時、定量、一定品質の野菜を安定生産するために、長雨や強風の影響を受けない耐候性野菜栽培施設を導入する。	野菜（葉野菜類）の反収（10aあたりの生産量） ホウレンソウ 1.1t/10a カラシナ 1.3t/10a チンゲンサイ 1.3t/10a	野菜（葉野菜類）の反収（10aあたりの生産量） ホウレンソウ 2.2t/10a カラシナ 1.9t/10a チンゲンサイ 2.2t/10a	◎
09 うるま市	4 ①	勝連城跡周辺文化観光拠点整備事業	R3	世界遺産として登録されている勝連城跡の周辺に体験・交流を含めた複合的な文化観光拠点施設を整備し、観光客の誘客を図る。	【R4成果目標】 年間来場者数300千人	年間来場者数：88千人	未
09 うるま市	1 ⑧	EV自動車普及促進事業	H24～R3	うるま市産EV自動車の性能や安全性向上により、普及促進を図る。	実証を行った事業者におけるEV車契約率 ※ 契約率：80%以上 EV車購入事業者数/実証事業者数	実証を行った事業者におけるEV車契約率：50%	未
09 うるま市	1 ④	国際物流トライアル推進事業	H24～R3	市内事業者の新たな物流モデル構築の取組に対して実証実験を実施し、取扱貨物量の増加を図る。	【R4 成果目標】 国際物流トライアル推進事業における中城湾港新港地区での取扱貨物1モデルあたり2,880トン以上	取扱貨物1モデルあたり5,156トン（博多航路）	◎
09 うるま市	1 ⑦	産業振興計画策定事業	R3	「うるま市産業振興計画」（平成29年3月）で示した目標の達成状況及び実施事業の効果検証を行うとともに、昨今の社会経済情勢の変化に対応した、本市の経済的自立を促す経営手法の導入と地域資源の活用による持続可能な経済振興施策を展開するための計画を策定する。	・策定した産業振興計画の中で、新規就業者の創出に係る目標値を設定し、当該数値を目標とした産業施策を実施する。 【設定目標】 新規就業者の創出：1,568人	新規就業者の創出：1,126人	○

【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「R5年度以降に効果発現する事業」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画時期	事業内容	成果目標（指標）	R4年度成果実績（指標）	評価
09 うるま市	2 ②	地域雇用人材育成事業	H24 ～ R3	新規雇用者を対象に、雇用後に行われる人材育成（OJT、OFF-JT等）支援を実施し、地域人材の雇用促進を図る。 また、テレワーク人材を育成し、即効性のある市民の新たな収入源確保に繋げ、地域経済の立て直しを図る。	・人材育成を行った新規雇用者の継続雇用率90%以上（1年後） ・人材育成事業実施後、テレワーカーとして働く市民 135名	・人材育成を行った新規雇用者の継続雇用率：50% ・人材育成事業実施後、テレワーカーとして働く市民 81名	未
09 うるま市	3 ④	サイクルツーリズム推進事業	H31 ～ R3	サイクリングを目的とした観光誘客を図るため、受入環境の整備及び国内外向けプロモーションを実施する。	サイクリングルート上の商業施設（勝連城跡休憩所）の売上高： 16,960千円以上	売上高：9,605千円	未
09 うるま市	7 ②	津堅島農業活性化事業	H29 ～ R3	島の5割が優良農地にも関わらず灌漑施設が未整備である津堅島において、散水作業を行い、津堅島農業の活性化を図る。	【R4成果目標】 津堅ニンジン反収2.0 t /10a 【R6成果目標】 策定した農業再生・活性化プランの中で、誘致企業数や新規就農者数など担い手確保に係る目標値を設定し、当該数値を目標とした振興及び活性化策を実施する。	津堅ニンジン反収0.7 t /10a	未
10 宮古島市	11 ①	城辺地区世代間交流施設等に関する検討事業	R3	児童の居場所を確保することによる保護者の負担軽減及び、高齢者の生きがいづくりを図るため、城辺地区に多世代が集い、交流できる施設を整備する。	①施設利用の児童保護者に対するアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 ②施設利用の児童と交流した高齢者に対するアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 満足度80%以上	①アンケート結果：97.2% ②アンケート結果：92.2%	◎
10 宮古島市	8 ①	高等教育機関の設置検討事業	H31 ～ R3	高等教育機関の設置に向けて、学校運営・学生確保等に関する実現可能性の検証（実証）を実施する。	定住環境整備のための高等教育機関の設置1校以上。	1校整備中	○
10 宮古島市	11 ①	城辺地区世代間交流施設等整備事業	R3	児童の居場所を確保することによる保護者の負担軽減及び高齢者の生きがいづくりを図るため、城辺地域に子どもや高齢者など多世代が集い、交流できる機能などを備えた施設を整備する。	①施設利用の児童保護者に対するアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 ②施設利用の児童と交流した高齢者に対するアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 満足度80%以上	①アンケート結果：97.2% ②アンケート結果：92.2%	◎

【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「R5年度以降に効果発現する事業」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画時期	事業内容	成果目標（指標）	R4年度成果実績（指標）	評価
10 宮古島市	4 ②	宮古島市海業センター整備事業	H29 ～ R3	水産物の安定的な種苗生産供給及び種苗栽培の技術社育成を図るため、宮古島市海業センターの機能強化整備を行う。	①種苗生産量 ・シラヒゲウニ稚ウニ 25,000個以上 ・タイワンガサミ稚蟹 140,000尾以上 ②研修施設利用者 320人/年	①種苗生産量 ・シラヒゲウニ稚ウニ 12,200個 ・タイワンガサミ稚蟹 0尾 ②研修施設利用者 80人/年	未
10 宮古島市	7 ①	下地島空港を活用した航空貨物輸送体制構築事業	R3	宮古圏域における農水産物等の移出量増及び滞貨状況の改善等を図るため、貨物上屋のない下地島空港において航空貨物輸送体制を構築する。	下地島空港における航空貨物取扱量：584t/年	下地島空港における航空貨物取扱量：321t/年	未
10 宮古島市	8 ①	平良港総合物流センター整備事業	R3	宮古地域における物流の安定化を図るため、総合物流センターを整備する。	取扱物流量 289千t以上/年	取扱物流量 207千t/年	○
10 宮古島市	9 ①	地下水保全調査事業	R3	伊良部島において新たな新水源開発可能な地点を選定する。また伊良部島地下水を持続的に使用するための適正揚水量等の稼働シミュレーションを行い、適切な地下水管理の基礎資料を作成する。	1) 次年度（R4年度）に伊良部島内に予備水源地1箇所選定	伊良部島水源開発追加調査完了（伊良部島内の予備水源候補地1箇所選定）	◎
10 宮古島市	10 ①	城辺地区世代間交流施設整備事業	H25 ～ H29	児童の居場所を確保することによる保護者の負担軽減及び、高齢者の生きがいづくりを図るため、城辺地区に多世代が集い、交流ができる施設を整備する。	・負担軽減が図られたか（80%以上）を含め、児童保護者に対するアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 ・生きがいづくりに寄与したか（80%以上）を含め、児童と交流した高齢者に対するアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	・アンケート結果：97.2% ・アンケート結果：92.2%	◎
11 南城市	1 ⑥	観光交通実証調査事業	H30	観光客の利便性確保を図るため、観光客が市内の観光資源を訪問、回遊するための交通手段を確保する。	R1年度に策定した実施計画に基づいた施策を展開し、観光客の市内交通に関する利便性確保を通して観光交流の振興・拡大につなげる。	取組実施	◎
11 南城市	1 ③	南城市まつり実行委員会支援事業	R3	南城市ファンを増加させリピーター獲得を図るため、南城市まつり実行委員会がまつりの開催に合わせて実施する市民と来訪者との交流促進に係る取組に要する経費を補助する。	市内滞在時間 1.65日以上	1.47日	○
11 南城市	1 ⑤	東御廻り等・体験交流受入整備強化事業	R3	観光客の市内滞在時間の延長を図るため、斎場御嶽へ向かう市道1号線に聖地の雰囲気合った暑さ対策のための休憩施設を設置する。	市内滞在時間 1.65日以上	1.47日	○

【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「R5年度以降に効果発現する事業」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画時期	事業内容	成果目標（指標）	R4年度成果実績（指標）	評価
11 南城市	1 ⑤	インバウンド受入環境整備事業	H25 ～ R3	外国人観光客の誘客及び満足度確保を図るため、需要調査及び市内における受入体制強化並びに旅行商品開発及び情報発信を行う。	南城市が満足できる観光地となっているか（80%以上）を含め、市に訪れた外国人を対象としたアンケートにより本事業の効果を検証する。	アンケート調査中止	未
11 南城市	1 ⑦	東御廻り等・体験交流受入整備強化事業	H24 ～ H30	斎場御嶽を拠点に年間約40万人の観光客が訪れることから、集客エリアにおける環境整備を図り、受入体制を整え、更なる観光振興を図る。 今年度は、世界遺産斎場御嶽周辺エリアの景観形成及び景観維持に係る計画を策定する。	①観光客を対象にアンケートを実施し、観光地として魅力的な景観となっているか（80%以上）を含め、本事業のあり方を検証する。 ②滞在型観光プログラムの利用者数：延べ100人以上	アンケート：延期81.7% 滞在期間：1.47日	△
12 国頭村	5 1	国頭村減災地域社会形成事業	H30 ～ R3	災害時において村民及び観光客等の安全を確保するため、防災マップ等の改定や集落別減災計画の作成を行う。	整備した防災マニュアル及び集落別減災計画を活用した避難訓練（10回以上/年）を実施することにより、マニュアル・計画のあり方について検証する。	実績：5回	未
12 国頭村	5 ①	多自然川づくり事業	H24 ～ R3	観光誘客や環境教育の場としての活用を図るため、中心市街地を流れる普通河川（辺土名川）の整備を行う。	河川工事整備率 100%（1,011m/全体延長L=1,011m）	河川工事整備率 100%（1,011m/全体延長L=1,011m）	◎
12 国頭村	1 ①	スポーツコンベンション観光振興事業	R3	観光資源（文化財、自然資源、特産品、体験事業）などの情報をより効果的に広く発信し、大宜味村産業まつりへの支援を行う。また、大宜味村の認知度向上を図るため、県内外でPRイベントを開催し、情報発信を図っていく。	合宿誘致件数：56件以上	合宿誘致件数：56件以上	◎
12 国頭村	3 ①	多自然川づくり事業	H24 ～ R3	観光誘客や環境教育の場としての活用を図るため、中心市街地を流れる普通河川（辺土名川）の整備を行う。	整備した河川沿いにある商店街の観光誘客イベント参加者数 720人 整備した河川での環境学習参加者数20人	整備した河川沿いにある商店街の観光誘客イベント参加者数 720人 整備した河川での環境学習参加者数20人	◎
13 大宜味村	4 ①	カラキ活用推進プロジェクト事業	H24 ～ R3	カラキを活用し、村内事業者の売上げ増に繋げるため、苗木の増殖実験・商品開発等を行う。	・挿し木苗の栽培管理の完了 ・鉢上げ作業の完了 ・鉢上げ後の苗の栽培管理の完了 ・苗の配布完了 ・講習会の開催（年1回以上）	・挿し木苗の栽培管理の完了 ・鉢上げ作業の完了 ・鉢上げ後の苗の栽培管理の完了 ・苗の配布完了 ・講習会の開催（年1回以上）	◎

【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「R5年度以降に効果発現する事業」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画時期	事業内容	成果目標（指標）	R4年度成果実績（指標）	評価
13 大宜味村	1 ③	ふるさと河川環境再生・活用整備事業	H25 ～ R3	観光誘客や環境教育の場としての活用を図るため、大川川とその周辺整備を行う。	・累計河川工事整備率 90% (2,378m/全体延長2,600m)	・累計河川工事整備率 75% (1952m/全体延長2,600m)	○
13 大宜味村	3 ①	カラキ活用推進プロジェクト	H30 ～ R3	カラキを活用し、村内事業者の売上げ増加を図る。今年度は苗木の増殖実験、加工法の検討等を行う。	・挿し木苗の栽培管理の完了 ・鉢上げ作業の完了 ・鉢上げ後の苗の栽培管理の完了 ・苗の配布完了 ・講習会の開催（年1回以上）	・挿し木苗の栽培管理の完了 ・鉢上げ作業の完了 ・鉢上げ後の苗の栽培管理の完了 ・苗の配布完了 ・講習会の開催（年1回以上）	◎
13 大宜味村	3 ①	カラキ活用推進プロジェクト事業	R24 ～ R3	カラキを活用し、村内事業者の売上げ増に繋げるため、苗木の増殖等を行う。	【R4成果目標】 ・開発した商品を活用し村内事業者11店舗以上	14店舗	◎
14 東村	4 ①	ハブ咬傷対策事業	H25 ～ R3	本村の主要観光施設である村民の森つつじ園利用者及び管理者の咬傷被害防止のため施設へ防蛇フェンスを設置するための調査を行う。	ハブ咬傷被害 0件/年	ハブ咬傷被害 0件/年	◎
14 東村	4 ①	災害備蓄品整備事業	H25 ～ R3	災害時における住民の安全確保を図るため、村内の避難所に備蓄食料を配備する。	配備した備蓄食料等を活用した防災訓練（1回以上/年）を実施する。	津波等訓練 1回実施	◎
15 今帰仁村	2 ⑥	景観形成強化事業	R3	魅力的な景観形成を図る為、観光アクセスルート且つ、村の昔ながらの景観が残る集落内を対象に、景観に配慮した道路整備を行う。	供用開始後、魅力的な景観形成が図られたか（70%以上）を含め、観光客等に対するアンケートにより、本事業を検証する。	アンケート結果未実施	未
15 今帰仁村	2 ④	今帰仁城跡周辺環境整備事業	H30 ～ R1	魅力的な景観形成を図る為、河川全体の自然環境を最大限に活かし、景観に配慮した河川を整備を行う。今帰仁城跡周辺の景観を阻害している電柱の抜柱を行う。	供用開始後、魅力的な景観形成が図られたか（70%以上）を含め、観光客等に対するアンケートにより、本事業を検証する。	アンケート結果未実施	未
15 今帰仁村	2 ⑧	今帰仁村体験・滞在型観光推進事業	H24 ～ R3	本村における宿泊日数は1泊の場合がほとんどで、多くは素通り観光である。宿泊を伴う自然体験や生活体験等の地域資源を活かした体験プログラムを創出し、長期滞在を含む村内宿泊者数の増加を図る。	【R5年度】 宿泊体験プログラムの販売5件 【R5年度】 連泊数3泊以上の村内宿泊観光客数の300人増	【R5年度】 宿泊体験プログラムの販売0件 【R5年度】 連泊数3泊以上の村内宿泊観光客数の0人増	未

【後年度・中期目標】 沖縄振興特別推進交付金事業成果

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「R5年度以降に効果発現する事業」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画時期	事業内容	成果目標（指標）	R4年度成果実績（指標）	評価
16 本部町	2 ①	園芸農業防災施設整備事業	H24 ～ R3	沖縄県では台風の襲来や病害虫の発生により農作物の被害が大きくなるため、農家経営に対する不安や生産意欲の減退などの課題がある。そこで、農産物生産物の出荷量向上を図るため、台風対策用の強化型パイプハウスの導入を行う。	パイン収穫量1,400kg以上(1棟あたり)	1,499kg	◎
16 本部町	2 ①	農水産業担い手支援住宅整備事業	R3	農業及び漁業の新たな担い手確保のため、農水産業担い手支援住宅を建築し、産業振興及び定住促進の推進を図る。	農水産業新規従事者入居戸数：4戸	農水産業新規従事者入居戸数：4戸	◎
17 恩納村	1 ③	あしびなー施設整備事業	H27 ～ R3	地域の伝統芸能を保存継承し観光誘客を図るため、仲泊地区に観光交流施設を整備する。今年度は新築工事を行う。	施設の年間利用者 1,680人以上	施設の年間利用者:663人	未
17 恩納村	2 ②	学校ICT環境整備事業	R3	児童生徒の学習環境を向上させるためのICT機器を村内の小中学校に整備する。	・教員にアンケートを実施し、授業でデジタル教科書やICT関連教材を活用し、情報活用能力の育成ができた割合(80%以上) ・児童生徒にアンケートを実施し、タブレット端末等を使用して、情報を活用できるようになったと答えた割合(80%以上)	・アンケート結果：88% ・アンケート結果：86%	◎
18 宜野座村	1 ⑤	宜野座村文化センターがらまんホール機能強化事業	H26 ～ H30	村の文化振興の中心的施設である宜野座村文化センターがらまんホールの各種機器の機能を強化し更なる高度な文化事業が行えるよう整備することで、村内外からの入場者数増加を図る。	年間利用者数 19,475人以上	年間利用者数 13,462人	未
19 金武町	1 ②	金武町観光振興等推進事業	R3	観光誘客及び観光客の利便性向上を図るため、誘客プロモーションや観光案内・誘導サインを整備する。	③受入体制の整備 (1)道路上の多言語観光案内板の整備 サインにより利便性が確保されたか(80%以上)を含め、来町者に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。	アンケート結果：82.0%	◎
19 金武町	1 ③	水辺をつなぐ遊歩景観推進事業	HR2 ～ R3	金武町の観光名所である金武大川の魅力向上を図るため、湧水を活用した大川児童公園と湧水の流末の親水広場をつなぐ遊歩道を整備する。	利用者数78,000人以上	利用者数35,405人	未

【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「R5年度以降に効果発現する事業」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画時期	事業内容	成果目標（指標）	R4年度成果実績（指標）	評価
19 金武町	3 ⑥	演奏活動推進事業	H27 ～ R2	ひとり親家庭が多く、高額な楽器に触れる機会の少ない児童・生徒も演奏活動を通して地域活動に積極的に参加・貢献することができるよう、吹奏楽部の活動が活発な小中学校に吹奏楽器を整備する。	①生徒が演奏活動を行った地域行事等への総来場者数7,000人以上 ②楽器整備後に地域行事で演奏活動をしたことにより、地域への関心が高まった割合（80%以上）を含め、児童・生徒へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	①総来場者数：230人 ②アンケート結果：100%	△
19 金武町	4 ②	金武町移民の日記念事業	R3	本町の移民の歴史を継承するため、顕彰式等を実施する。	参加者に対するアンケートで、移民の歴史に対する理解が深まったか（80%以上）	アンケート結果：97.8%	◎
20 伊江村	7 ①	伊江島はにくすに施設防災機能強化事業	R3	本村の玄関口であるはにくすに施設の防災設備の機能強化を行うことで、安心安全な施設環境の整備及び観光振興を図る。	整備した防災設備を活用した、防災訓練（1回以上/年）を実施することにより、本事業の在り方について検証する。	整備した防災設備を活用した、防災訓練（1回以上/年）を実施。	◎
20 伊江村	8 ①	伊江村屋内体育施設機能強化事業	H24 ～ R3	体育施設の備品購入による機能強化を行うことで、スポーツ合宿の誘致を図る。	・スポーツ合宿誘致件数6件	・スポーツ合宿誘致件数5件	○
20 伊江村	10 ①	伊江村歴史文化継承事業	R1	「伊江島考察史」の印刷製本及び書籍刊行を行うことで、本村における歴史や文化の継承を図る。	・郷土地域資料利用者へのアンケート調査で本村の歴史・文化への理解が深まったか（80%以上）を含め、本事業のあり方をアンケートで検証する。	・郷土地域資料利用者へのアンケート調査で本村の歴史・文化への理解が深まったと回答：83.3%	◎
21 読谷村	4 3	沖縄語（しまくとぅば）保存継承事業	H29 ～ R2	沖縄独特の口承文化や歌詞を支えてきた沖縄語の保存継承に寄与するため、生まれ育った地域の沖縄語で伝承されてきた民話や琉歌を調査・整理し、沖縄語に親しめる媒体（絵本やDVD等）を製作し、沖縄語になじみの薄い幼児や児童生徒らに沖縄語の教材を提供する。	HP（データベース）アクセス数：800件	HP（データベース）アクセス数：50,665件	◎
21 読谷村	4 4	ユンタンザミュージアム建設事業	H27 ～ R3	世界遺産座喜味城跡公園内に新読谷村立歴史民俗資料館（仮称ユンタンザミュージアム）を建設（本館改築と別館機能強化）し、世界遺産座喜味城跡や村内歴史文化資源のガイダンス機能を拡充し観光振興を図る。	観光客の年間入場者数38,500人	実績19,802人	未
21 読谷村	3 ③	ユンタンザミュージアム南側駐車場整備事業	H24 ～ R2	ユンタンザミュージアム及び世界遺産座喜味城跡来訪者のための駐車場を整備することにより、来訪者の利便性の確保を図る。	整備工事の一部完了	整備工事の一部完了	◎

【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「R5年度以降に効果発現する事業」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画時期	事業内容	成果目標（指標）	R4年度成果実績（指標）	評価
21 読谷村	1 ④	ゆんたんざウトウイムチ推進事業	H26 ～ R3	本村の観光の現状や課題の分析を行い、今後の観光振興の方向性を示す読谷村観光振興計画を策定し、計画に基づく施策を推進する。	策定する観光振興計画の中で、主要観光地の入込客数等、観光振興に係る目標値を設定し、当該数値を目標とした観光振興施策を実施する。	完了	◎
21 読谷村	6 ②	瀬名波通信施設跡地（非農用地部分）基本設計策定事業	H30 ～ R3	瀬名波通信施設跡地の土地利用を促進するため、非農用地部分の基本設計を行う。	農用地（土地改良事業）と非農用地の一体的整備方法等の検討。	検討完了	◎
21 読谷村	6 ③	読谷補助飛行場跡地「先進農業支援センター」利活用促進事業	H29 ～ R1	読谷補助飛行場跡地「先進農業支援センター」の今後の土地利用の安定化を図るため、当該地区の分筆・合筆に伴う地籍測量を行う。	貸付筆数 24筆	実績36筆	◎
22 嘉手納町	1 ①	観光プロモーション事業	H24 ～ R3	北谷町の知名度を一層向上させ、本町への観光客誘客推進と観光資源である地域特産品の効果的なピーアール及び販路拡大支援を図るため、県外等において、誘客プロモーション事業を展開する。	町入域観光客数 792千人以上	町入域観光客数：550千人	△
22 嘉手納町	1 ②	比謝川緑地広場整備事業	H24 ～ R2	観光誘客を図るため、比謝川緑地に自然体験・交流拠点施設や広場等を整備する。	年間利用客数：延べ12,240人以上	年間利用客数：延べ12,391人	◎
22 嘉手納町	1 ③	屋良東部地区地域振興施設機能拡充事業	H24 ～ R3	施設利用者の増加を図るため、地域振興施設の機能拡充（展望台及び広場の拡張、飲食物販施設の増築、駐車場整備等）を行う。	施設の来訪者数 77.9万人以上/年	年間来訪者数：55万人	○
24 北中城村	1 ⑪	荻道・大城湧水群周辺環境整備事業	H24 ～ R3	「平成の名水百選」に選ばれた荻道・大城湧水群を新たな観光資源としての活用を図るため、必要な湧水の確保対策に向けた検討及び散策路として整備するための実施設計を行う。	散策路整備により満足度が向上したか（80%以上）を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	アンケート結果：83.0%	◎
24 北中城村	10 ①	防災体制整備事業	H24 ～ R3	津波や台風等の大規模自然災害が発生した場合、被災地外からの支援が行き届かないことなどが想定され、被災地内での自立的な供給体制が必要であるため、備蓄食料、生活物資、防災用品の整備を行う。	整備した備蓄品等を活用した防災訓練（3回以上/年）を実施することにより、本事業のあり方について検証する。	防災訓練3回	◎
24 北中城村	1 ④	公営墓地整備事業	H24 ～ R3	沖縄独特の墓地散在化の抑制と整理、景観的な配慮や住環境の改善を図るため、公営墓地の整備を行う。	公営墓地利用世帯：35世帯	公営墓地利用世帯：77世帯	◎

【後年度・中期目標】 沖縄振興特別推進交付金事業成果

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「R5年度以降に効果発現する事業」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画時期	事業内容	成果目標（指標）	R4年度成果実績（指標）	評価
24 北中城村	2 ②	キャンプ瑞慶覧返還地区等跡地利用推進事業	H24～R3	キャンプ瑞慶覧ロウワー・プラザ住宅地区の跡地利用を推進するため、跡地利用計画（素案）の見直しを行う。	跡地利用計画（素案）に対する地権者や村民等へのアンケート調査により本事業の在り方を検証する ：肯定的な評価80%以上	アンケート結果：70%	○
24 北中城村	6 ①	琉球歴史風致資産調査事業	H24～R3	村内の「歴史風致資産」に関する調査成果のとりまとめを行い、本村独自の歴史を情報発信する。	報告書利用者に対し村の歴史への理解度等に関するアンケートを実施し、本事業のあり方を検証する。 80%以上	アンケート結果：96.0%	◎
25 中城村	2 1	（仮称）護佐丸歴史資料図書館整備事業	H24～R3	沖縄や中城村の歴史、文化、世界遺産等について学べる場所であり、それらを村内外に広く知らしめる情報発信拠点として、また、災害時の安全を確保するため防災タワーも兼ねた複合施設として、（仮称）護佐丸歴史資料図書館の整備を行う。	【R3成果目標】 年間利用者数 91,300人	年間利用者数 64,389人	○
25 中城村	2 1	吉の浦公園施設機能強化整備事業	H24～R3	健康づくりや文化振興に資するため、吉の浦公園施設の整備を実施する。また、芝生の適正管理等を行い、プロサッカーチームのキャンプ誘致を図る。	年間利用者数 機能強化整備前より1割増 令和4年度：10,140人（H28実績の1割増）	令和4年度実績：18,987人	◎
25 中城村	6 ②	中城村農業振興環境整備事業	H24～R3	中城村の農業振興に寄与するため営農指導員及び作業補助員により栽培方法や種苗等の試験栽培を行い、栽培方法の改善や品質向上を目指す。また、試験によって得られた成果を農家に対して指導を行う。	試験栽培により得られた効果を活用し、営農指導を行った農家の割合 80% 本事業の在り方についてアンケートにより検証 適切な指導であったとの割合：80%	農家の割合：85% アンケート結果：90%	◎
25 中城村	1 ①	省エネ化推進整備事業	H24～R3	沖縄らしい風景を保全するため、公園の芝刈り、樹木剪定、植栽等を行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	LED導入による温室効果ガス（CO2）排出量の削減効果：12.8t-CO2/年の削減	LED導入による温室効果ガス（CO2）排出量の削減効果：6.1t-CO2/年の削減	未
25 中城村	2 ①	吉の浦公園施設機能強化整備事業	H24～R3	プロサッカーチームの合宿誘致、村民等の健康増進及び利用者の利便性確保を図るため、スポーツや文化活動の拠点として活用されている吉の浦公園内の各施設の機能強化整備を行う。	②（園内） 遊具が整備されたことにより運動しやすい環境が整ったことで運動不足が解消されたか（80%以上）を含め、当該事業のあり方について施設利用者のアンケートで検証する。 ③（吉の浦会館） 吉の浦会館のLED照明整備により施設の利便性の向上について（80%以上）利用者へのアンケートで検証する。	②吉の浦公園健康遊具新設 運動不足の解消アンケート結果：83% ③吉の浦会館照明器具LED化利便性の向上 アンケート結果：90%	◎

【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「R5年度以降に効果発現する事業」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画時期	事業内容	成果目標（指標）	R4年度成果実績（指標）	評価
25 中城村	2 ④	観光地周辺環境美化事業	H24 ～ R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地及び観光地へのアクセス道路の美化清掃等を行う。	魅力的な観光地としての景観となっているか（80%以上）を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	アンケート結果：92%	◎
25 中城村	5 ①	文化財悉皆及び中城村沖縄戦調査事業	H24 ～ R3	本村の歴史文化の継承を図るため、村内に所在する文化財等の調査・把握及び沖縄戦に関する記録保存を行い、出版物として刊行する。	・令和4年度に当該事業を総括する展示会を開催する。 見学者数：3,200人以上	見学者数：1,405人以上	未
25 中城村	5 ③	文化財整備事業	H24 ～ R3	太平洋戦争終了に伴い国内外から強制返還された沖縄県人約17万人のうちの約10万人が降り立った港跡地に建てられた戦後引揚者上陸碑は、現在の所在地が民有地になっていることから見学に支障をきたしている。そのようなことから、隣接する県管理地に移設して利活用を図っていく。	【R4年度】 見学者150人（村内小中学校等の平和学習利用者90人+文化財巡りツアー60人）	100人	未
26 西原町	7 ①	水難救助車整備事業	H24 ～ R3	水難救助車を配備し、水難事故や災害への消防活動の機能強化を図る。	・水難救助訓練（35回/年）	水難救助訓練：30回/年	○
27 与那原町	14 1	「御新下り」関連史跡復元・周辺整備・歴史資料館（仮称）整備事業	H24 ～ R3	「御新下り」関連の史跡等の復元や周辺環境を整備し、観光資源として活用する。	事業番号8-①「親川拝所整備事業」と同一事業であるため一つにまとめて検証 来場者数 10,400人	約11,000人	◎
27 与那原町	13 ①	「御新下り」関連施設復元・周辺整備・歴史資料館（仮称）整備事業	H24 ～ R3	本町を訪れる観光客等の利便性向上を図るため、今年度は公衆トイレと飲食施設の併設した複合施設の改築に向けた建築基本設計を行う。	事業番号8-①「親川拝所整備事業」と同一事業であるため一つにまとめて検証 来場者数 10,400人	約11,000人	◎
27 与那原町	8	親川拝所整備事業	H24 ～ R3	歴史・文化を後世に継承・発信するため、親川拝所の復元・広場周辺及び管理棟の整備を行う。それを学校教育・生涯学習へと活用することで、地域の歴史を学ぶ機会を増やし、地域住民の誇りを高めることに役立てるとともに、新たな観光資源としての活用を図る。	来場者数 10,400人	約11,000人	◎
27 与那原町	9	水難救助車整備事業	H24 ～ R3	水難救助車を配備し、水難事故や災害への消防活動の機能強化を図る。	水難救助訓練 35回/年	30回	○

【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「R5年度以降に効果発現する事業」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画時期	事業内容	成果目標（指標）	R4年度成果実績（指標）	評価
28 南風原町	3 4	低炭素社会化事業（省エネ設備導入事業）	H24 ～ R3	温室効果ガス(CO2)を減らし地球温暖化の抑制に繋げるため、町立幼稚園、小学校、中学校にある室内灯（蛍光灯）等を環境負荷の少ないLED照明等への切り替えを行う。	年間温室効果ガス排出削減量 136t	年間温室効果ガス排出削減量 130t	○
28 南風原町	7 1	水難救助車整備事業	H24 ～ R3	水難救助車を配備し、水難事故や災害への消防活動の機能強化を図る。	水難救助訓練（35回/年）	水難救助訓練：30	○
28 南風原町	4 2	北丘小学校西側避難通路整備事業	H24 ～ R3	災害時の住民の安全を確保するため、避難通路及び法面の整備を行う。	整備した避難通路を活用した避難訓練（1回以上/年）を実施することにより、本事業のあり方について検証する。	水難救助訓練：1回	◎
31 粟国村	2 ④	粟国村小学校3・4年生副読本制作事業	H24 ～ R3	児童一人ひとりが粟国村の産業・文化等に興味を持ち、副読本の活用により地域社会を学べる環境づくりを確保するために副読本を制作する。	【R4年度成果目標】 保護者へのアンケートにて「粟国村の歴史・文化等への理解が深まった」の回答が80%以上	100%	◎
31 粟国村	3 ③	子育て支援事業	H24 ～ R3	子育て支援の充実を図るため、幼児から小学生が気軽に安心安全に遊べる施設や公園等を整備する。	【R4成果目標】 子育て支援の充実した整備が行われたか（80%以上）を含め、保育園・幼稚園・小学校生徒の保護者等へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	100%	◎
31 粟国村	4 ①	集出荷場施設整備事業	H24 ～ R3	粟国村の特産品である農作物の円滑な出荷を可能にするため、集出荷場の機能強化を行う。	【R4年度成果目標】 一年の従事時間50%減 ●目標値：現在の2名体制から1名体制になるので、既存機械従事時間は2名×7.5時間×83日（令和4年5月～8月中の平日日数）＝1,245時間。 目標値は1名×7.5時間×83日＝622.5時間とし、従事時間50%減を目標値とする。	・「もちきび」選別機械の撤去、新しい機械の導入 ・「もちきび」の集出荷場に従事する新しい担い手確保	◎
32 渡名喜村	4 ①	観光振興整備事業	H24 ～ R3	観光案内所や観光スポットである東浜周辺の整備を行うことで、受入体制を整え、観光客の利便性を確保する。	利便性の確保が図られていると評価する観光客の割合80%以上（アンケートにより算出）	【R4年度】 ・利便性の確保が図られたか（80%以上）を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	◎

【後年度・中期目標】 沖縄振興特別推進交付金事業成果

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「R5年度以降に効果発現する事業」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画時期	事業内容	成果目標（指標）	R4年度成果実績（指標）	評価
34 北大東村	5 ①	北大東島歴史の情報発信環境整備事業	H24 ～ R3	国内でも稀な歴史や文化が育まれた当時の生業を感じられる展示物等を整備し観光誘客を図る。	・来訪者が島の歴史文化や生業を知ることが出来たか（80%以上）を含め、アンケート調査により本事業のあり方を検証する。 ・民俗資料館来訪者数 1,000人以上	・アンケート結果：83% ・民俗資料館来訪者数：951人	○
34 北大東村	6 ①	子育て環境整備事業	H24 ～ R3	子育て世代を含む人口流出が大きな課題となっており、子ども達が安全に遊べる遊具を整備することで、子育て世代の満足度を向上させる。	・子どもが安全に遊べる環境が図られているか（80%以上）、アンケート調査により本事業のあり方を検証する。	・アンケート結果：100%	◎
35 伊平屋村	1 1	商工観光産業支援事業	H24 ～ R3	本村に数多く点在する史跡や文化財を地域資源として活用していくため、村内の各種イベントで使用する会場や観光施設、観光ルート等の草刈作業や花壇等の環境整備を行い、花木の植栽など美化活動を行う。	民泊利用者数 800人以上	民泊利用者数：1,252人	◎
35 伊平屋村	1 ④	公園修景等整備事業	H24 ～ R3	国指定天然記念物の念頭平松がある念頭平松平和公園の整備を行い、利便性を確保する。	利便性が確保されたか（80%以上）を含め、当該施設のあり方についてアンケート調査により検証する。	アンケート結果：82.0%	◎
35 伊平屋村	1 ⑤	伊平屋村「琉球の兆し」普及啓発事業	H24 ～ R3	文化資源及び観光資源としての価値を高めるために村文化財の保存継承を図り、観光客の利便性の向上に取り組む。	R4年度の成果目標を歴史民俗資料館の入館者数1,326人以上とする。	入館者数：594人	未
35 伊平屋村	4 ③	伊平屋村救急体制強化事業	H24 ～ R3	住民及び観光客等の安心安全を確保するため、消防団活動及び防災体制の機能強化を図る。	【R4成果目標】 消防団の訓練の実施（12回以上/年）により、緊急車両（消防車）の活用のあり方を検証する。	訓練実施回数：13回	◎
36 伊是名村	4 ③	水産物加工施設機能強化事業	H24 ～ R3	もずくカゴ及びリサイクルプラ缶洗浄作業の効率化やもずく加工施設で製缶したもずくの出荷量の増加を図ること及び衛生管理に必要な洗浄機の整備を行う団体を支援する。	1日当たり平均447個以上のもずくプラ缶を製缶する。	450個製缶	◎

【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「R5年度以降に効果発現する事業」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画時期	事業内容	成果目標（指標）	R4年度成果実績（指標）	評価
37 久米島町	3 ①	観光誘客促進事業	H24 ～ R3	観光地としての知名度向上を図るため、「久米島観光の日」イベントの開催や県内外のイベントでのPR活動を行う。また、観光客の利便性を確保するため、久米島空港内に観光案内所を設置する。	①島外でのイベント来場者へのアンケートにより、「久米島に「いま訪れたい」と回答した割合 80%以上 ②来島した観光客へのアンケートにより、「観光案内所があることで利便性が確保されている」と回答した割合 80%以上	①アンケート未実施 ②アンケート結果：84%	△
37 久米島町	3 ④	久米島町観光危機管理体制構築事業	H24 ～ R3	災害時における観光客等の安全を確保を図るため、久米島町観光危機管理計画を策定する。	避難訓練を実施し、訓練に参加した事業所・観光客等を対象としたアンケートで「参加者が安全・確実に避難行動をとることができたか」の割合 80%以上	コロナウイルス感染対策のため訓練中止	未
37 久米島町	4 ①	子育て支援事業	H24 ～ R3	待機児童の解消に必要な保育士の確保を図るため、島外からの保育士誘致等を行う。	アンケート調査により「当該施設の整備により利便性が確保されたか」の割合 80%以上	未実施	未
37 久米島町	4 ②	防災情報収集発信体制整備事業	H24 ～ R3	災害時における町民及び観光客等の安全を確保を図るため、災害発生時における情報の収集及び発信を効率的・効果的に行うための防災情報システムを整備する。	町民及び観光客等が参加する避難訓練を実施（1回以上/年）し、アンケートで「参加者が安全・確実に避難行動をとることができたか」の割合 80%以上	アンケート結果：88.0%	◎
38 八重瀬町	2 10	八重瀬町観光拠点施設整備事業	H24 ～ R3	本町の観光を推進する拠点機能としての観光インフォメーション施設、特産品等の販売施設、体験型・交流観光推進施設等の観光振興機能の導入を図るとともに、沖縄本島南部観光における中継地点として利用されるよう整備する。	施設来場者数 300,000人以上	205,000人	未
38 八重瀬町	2 3	港川フィッシャー遺跡整備事業	H24 ～ R3	町内から出土した「港川人」を含む更新世化石人骨は東アジアでも発見されているが、保存がよく全体の形態がわかるのは港川人だけであり、貴重な資料として位置づけられている。町では出土地の「港川フィッシャー遺跡」を整備し、公開することで、教育や観光資源としての活用を図る。	供用開始1年目の目標として、ガイダンス施設利用者数 13,000人以上（令和4年）	3,792人	未

【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「R5年度以降に効果発現する事業」…「ー」

市町村名	事業番号		事業名	計画時期	事業内容	成果目標（指標）	R4年度成果実績（指標）	評価
38 八重瀬町	3	3	八重瀬町観光プロモーション事業	H24 ～ R3	八重瀬町の観光振興を推進するにあたり、観光施策を構築し積極的な観光プロモーションを実施するため、観光プロモーションの企画運営管理、県内外への認知度向上のために情報発信や発地への観光プロモーション等を行う。	主要観光施設の入込観光客数 267,000人以上	約173,000人	未
38 八重瀬町	2	②	港川フィッシャー遺跡整備事業	H24 ～ R3	港川人の出土地である「港川フィッシャー遺跡」の教育及び観光資源としての活用に向けて周辺整備を行う。	観光、研修等で訪れた方を対象にアンケート調査を実施。観光地、学習施設としての満足度を調査する（満足度80%以上）	97.0%	◎
39 多良間村	3	⑥	多良間村自然文化継承事業	H24 ～ R3	村の歴史・自然・しまくとぅばの継承と観光誘客を図るため、郷土資料の修復、自然環境の調査等を行う。	①ふるさと民俗学習館の村民利用者数177人以上 ②ふるさと民俗学習館の観光客利用者数652人以上 ③シンポジウム来場者数50人以上 ④ふるさと民俗学習館の来館者数延べ1,300人以上	①169人 ②743人 ③90人 ④912人	○
40 竹富町	1	5	干立地区防災機能改善事業	H24 ～ R3	西表島干立地区の金座山に津波避難施設を整備し、地域住民および滞在者の安全性と利便性を確保する。	整備完了後の目標を以下のとおりとする。 ①整備した避難路を活用した避難訓練（2回以上/年）を実施することにより、本事業のあり方について検証する。 ②避難訓練参加者にアンケート調査を実施し、安心・安全に避難できるか（80%）を含め、本事業のあり方について検証する。	避難訓練：1回 アンケート：未実施	未
41 与那国町	1	④	与那国町観光地整備事業	H24 ～ R3	利便性と安全性が確保された観光地を提供し観光客等が安心して利用できる環境を整備するため、既存の「西崎展望台」の充実を図り整備実施する。	利便性と安全性が確保されたか（80%以上）を含め、トイレ整備について観光客等へのアンケートで検証する。	アンケート結果：97.9%	◎

【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「R5年度以降に効果発現する事業」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画時期	事業内容	成果目標（指標）	R4年度成果実績（指標）	評価
41 与那国町	3 ①	家庭学習支援モデル事業	H24 ～ R3	都市部と学習環境に格差がある本町の小中学生のため、ICT機器を活用した授業を行い、家庭学習支援を目的とした「町営学習塾」を開設する。	【R4成果目標】 全国学力・学習状況調査において、直近3年間（R3調査含む）の全国平均正答率と町平均正答率の差 小学生国語：-1.0ポイント以内 全国学力・学習状況調査において、直近3年間（R4調査含む）の全国平均正答率と町平均正答率の差 小学生算数：-0.8ポイント以内 全国学力・学習状況調査において、直近3年間（R4調査含む）の全国平均正答率と町平均正答率の差 中学生国語：+1.6ポイント以上 全国学力・学習状況調査において、直近3年間（R4調査含む）の全国平均正答率と町平均正答率の差 中学生数学：-1.9ポイント以内	【小学生】 国語：-1.3ポイント 算数：-0.7ポイント 【中学生】 国語：-5.8ポイント 数学：-13.8ポイント	△
41 与那国町	3 ②	教育諸活動助成事業	H24 ～ R3	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、島外・県外で開催される大会や選抜による合同練習等に参加する児童生徒及びその指導者等に対し、航空運賃等の補助を行う。	児童生徒が広い視野を持てたか（80歳以上）を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	アンケート結果：54%	未